

分散型水管理を通じた 風かおり緑かがやくあまみず社会の構築

樋井川流域治水市民会議 福岡市城南区・南区（2級河川樋井川流域）



発表者
福岡工業大学：森山 健之

雨水タンクスマート化・見える化



M邸雨水タンク (5.6t貯留)



荻浦ガーデンサバール設置モニタ画面



乙女が池スマート化工事

活動の目的

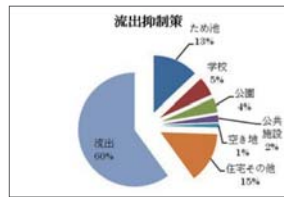
治水・利水・環境・暮らしなどを据えた包括的な水循環が存在する「あまみず社会」を提案し、福岡県樋井川流域において、水を軸としたコミュニティの再構築を目指す。

活動方法

現在の水管理システムを補完する分散型のサブシステムとして、雨水を貯留し、地下へ浸透させる取り組みを流域の多世代多様なステークホルダーにより実施する。雨水を貯め、利用する過程で人々の水管理に対する意識を育むとともに、流域内の豊かな生態系の再生にも取り組む。

活動内容

- ・45回にわたる会議、ハザードマップの作成、雨水タンクの設置 (106基)、浸水深サインの設置
- ・雨水戦隊レンジャーZによる子供への啓発活動、グリーピーキャンペーン及び防災どんたくへの積極的参加
- ・スマート雨水タンクによる見える化と豪雨前予備放流。善福寺川など他流域との交流
- ・今後、雨水タンクなどの設置の公募、雨水センターの設置、源流の碑設置などを予定



流出抑制策



鳥飼校区浸水深サイン



グリーピーキャンペーン 2015



雨水戦隊レンジャーZ



間伐材を利用したファニチャータンク



源蔵池 (9万トン貯留) 一池干し



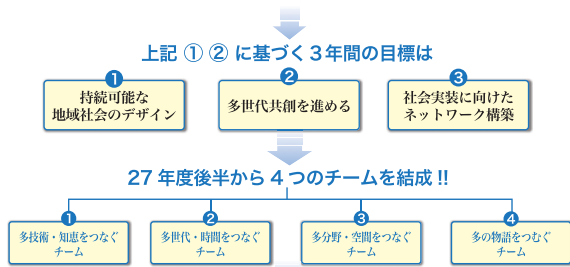
タンク彩色
城南中美術部、福大渡邊研究室と
NPO 南畑ダム貯留する会とのコラボ

苦勞した点

流域治水、あまみず社会の実現というコンセプトを理解していただくこと。

今後の課題や展開に向けたビジョン

- ①人びとの生き方 (福祉) の幅を増やす技術を核とした都市設計をすすめていく
- ②リスク・マネジメントと生き方の幅を広げる



以上により水の制約を見えるようにし、自ら循環に参加することの重要性を知らしめていくことにより

中長期目標

- 1) 樋井川での全流域でのあまみず社会への取り組み
- 2) あまみず社会の全国への普及
- 3) 善福寺川のみずがきれいになる



荻浦ガーデンサバール (110t貯留)



雨水ハウス (W邸、42t貯留)

雨水タンク設置状況

福岡県のバックアップで、メンバーの南畑ダム貯留する会と福岡大学が設置した雨水タンクの設置状況です。この雨水タンクの設置者に対するアンケートで雨水タンクを防災に用いる場合の現状と問題点を把握しました。

田島地区ハザードマップ

住民と相談し、避難経路が水没する場合に校区外に避難できるように、校区外の避難所の管理者と協議しました。本ハザードマップは紙に印刷して配布したハザードマップ「田島校区水害避難ガイドブック」の元データから、この電子地図に変換したものです。

長尾校区ハザードマップ

住民と話し合っ避難経路を設定しました。本ハザードマップは紙に印刷して配布したハザードマップの元データから、この電子地図に変換したものです。このハザードマップの KML データはすべて AWS S3 (クラウド上のストレージ) に置いてあります。

鳥飼校区ハザードマップ

鳥飼校区のハザードマップを住民と相談しながら作成しました。垂直避難のための避難ビルを、マンション等の管理組合にお願いして設定させていただきました (非公開) また、城南区役所付近に設置した4つの浸水深サインも表示しました。本ハザードマップは紙に印刷して配布したハザードマップ「鳥飼校区水害避難ガイドブック」の元データから、この電子地図に変換したものです。なお、非公開データは KML ファイルを読み込んでいますが、公開データは AWS S3 (クラウドストレージ) に置いてあります。これにより、Google Earth でも使えます。